

令和7年1月 市長記者会見 配布資料

発 表 要 旨

期 日 令和7年1月 10 日(金)

時 間 午前 10 時～午前 11 時(予定)

発 表 内 容

- 1 災害時の情報集約サイト「さど防災ネット」について ……<防災課>
- 2 さどU I ターン・地元就職応援サイト「COMPASS(コンパス)」の開設について ……………<地域産業振興課>

【事前質問】

- ① 新年を迎え、今年の市政運営に対する抱負と課題について聞かせてください。(総合政策課)
- ② 「佐渡島の金山」の世界文化遺産登録から 2 年目となる今年、登録効果を持続するための戦略について聞かせてください。(観光振興課)
- ③ トキエアが3月下旬以降の夏ダイヤで成田空港離発着の首都圏直行便運航を計画しているようですが、所感を聞かせてください。長谷川社長から聞いた進捗状況(訓練開始、就航予定など)について聞かせてください。(交通政策課)
- ④ 佐渡から東京駅まで乗り継ぎ時間を入れた所要時間は「佐渡ー成田直行便」と「ジェットフォイルー新幹線」で、どの程度の差があると思いますか。成田直行便は、東京への島民の足になると思いますか。(交通政策課)
- ⑤ トキエアが佐渡ー首都圏便で導入を予定していたストール機が開発中止になった今、現行の機体では乗客定数を大幅に減らさないと就航できないと思いますが、それでは採算が取れず、県と市の赤字補填ありきの運航になるのではないのでしょうか。(交通政策課)

市長記者会見発表内容 要旨 (R7. 1. 10)

1 災害時の情報集約サイト「さど防災ネット」について

<概要>

- 災害時における情報発信の改善のため、災害時に必要な情報を集約し、リアルタイムで視覚的にわかりやすくお伝えすることを目的として、災害時情報サイト「さど防災ネット」を立ち上げました。
- 主な機能として、地震・津波情報、気象情報や避難指示などを地図上で視覚的に表示し、状況を把握できます。
- 避難所の開設状況を確認できるほか、お知らせ情報欄には道路の通行止めや断水といった、生活に欠かせない情報も随時更新します。
- 「さど防災ネット」は、スマートフォンなどからQRコードを読み取りアクセスできます。佐渡市公式LINEからでも簡単にアクセスできます。

2 さどU I ターン・地元就職応援サイト「COMPASS(コンパス)」の開設について

<概要>

- 現在、佐渡市では「人材・労働力確保」が喫緊の課題となっており、特に市外に進学した学生の地元企業への就職と定住を促進し、島内企業の人材確保につなげることが重要と考えています。
- 今までは、求職者が市内企業について調べようとしても情報が分断または不足した状況下であり、雇用につながる機会そのものが少ないという問題がありました。
- その解決策のひとつとして、さどU I ターン・地元就職応援サイト「COMPASS」を1月9日に開設しました。このサイトにより、求職者が佐渡の優良企業を一括で調べ、募集している求人に応募することが可能となります。
- 求人掲載の他にも、企業からのニュースや先輩社員からのメッセージ、補助金情報などのコンテンツもあり、佐渡で“働く場所”を探したい方や佐渡の企業を知りたい方にとっても、最適なサイトとなっています。
- 随時、掲載希望事業者も募集しています。掲載料は年間3万円で、COMPASSに掲載した求人は自動で大手求人検索サイトへも掲載されます。

【事前質問】

① 新年を迎え、今年の市政運営に対する抱負と課題について聞かせてください。

- ・ 昨年は「佐渡島の金山」の世界文化遺産登録、小木町が重要伝統的建造物群保存地区に選定されたほか、佐渡無名異焼が国の伝統的工芸品に指定されるなど、佐渡の文化が高い評価をいただきました。
- ・ 今年は、これら文化の持つ唯一無二の価値を国内外に発信し、インバウンドを含めた交流人口を拡大させ、島の経済への好循環を将来に渡って持続するための、勝負の年であると考えています。
- ・ 世界遺産を核とした歴史・文化、トキをシンボルとする自然を活用して、交流・関係人口の創出から「住む」と「働く」への支援をセットにした、二地域居住を推進してまいります。
- ・ 子どもたちが世界遺産の本物の価値を知る機会を充実させ、大人も含めて郷土への誇りを醸成する地域教育を推進し、佐渡から新潟県全体を元気にする日本のモデルとなるよう取り組んでまいります。
- ・ 人口減少社会に向き合い、安定した市政運営を進めるためには、病院、上下水道、ごみ処理施設などのインフラの維持は喫緊の課題です。引き続き、国・県へ要望、連携しながら財源確保に取り組めます。
- ・ 行財政の観点では、プライマリーバランスゼロを目指した経営改革に取り組んでまいります。年度末には、市民の皆様に経営改革ビジョンをお示しし、行財政改革の「変化」と伝統の「守る」を両立させ、持続可能な島の実現に向けて取り組んでまいります。

② 「佐渡島の金山」の世界文化遺産登録から2年目となる今年、登録効果を持続するための戦略について聞かせてください。

- ・ 世界遺産登録後、9月から11月の観光入込数は、コロナ禍前の同時期に比べて約10%増加している状況です。年末年始の宿泊施設への入込数も昨年よりも増加傾向で、個人客の増加に加えて団体旅行も増えてきており、世界遺産登録の効果が見えてきているところです。

- ・ 世界遺産登録効果を持続するためには、2年目となる今年が取組みが重要になると考えています。小木地区の重要伝統的建造物群保存地区や無名異焼の伝統的工芸品など、佐渡固有の歴史や文化、食、自然などの地域資源を活かし、認知の拡大を図るとともに、国内外のお客様から長期滞在してもらう、再度訪れてもらう仕組みづくりを進めていきたいと考えています。
- ・ これまで観光入込が低調だった早春や晩秋の入込増加に向けた取組みを強化することで、地域産業全体への経済波及効果の拡大を図りたいと考えています。
- ・ インバウンド旅行者の誘客を促進するために、本市に多くお越しにいただいている台湾をはじめ、旅行消費額が高く長期滞在が望まれる欧米豪へのプロモーションの強化を図るとともに、対岸都市と連携した周遊滞在型観光の構築に向けた仕組みづくりを強化することも重要です。上質かつ満足度の高い体験や宿泊施設、移動手段など、佐渡・新潟エリア全体で高付加価値旅行者を受け入れていくための仕組みづくりも重要であると考えています。
- ・ 島内の受入れ環境については、引き続き、周遊バスの運行によるパークアンドライドの推進や、タクシー不足の解消に向けたライドシェアの導入による持続可能な交通体系を構築することが重要であると考えています。

③ トキエアが3月下旬以降の夏ダイヤで成田空港離発着の首都圏直行便運航を計画しているようですが、所感を聞かせてください。長谷川社長から聞いた進捗状況(訓練開始、就航予定など)について聞かせてください。

- ・ 現状、長谷川社長含めトキエアから佐渡航空路線の具体的な就航計画について報告はありませんが、佐渡ー成田便が実現した場合、医療従事者をはじめとする人材の移動手段や、産業活動に不可欠な物流の確保、インバウンドを含めた観光客の誘客など、様々な面において効果を発揮するものと期待しています。今後の動向を注視してまいります。

④ 佐渡から東京駅まで乗り継ぎ時間を入れた所要時間は「佐渡ー成田直行便」と「ジェットフォイルー新幹線」で、どの程度の差があると思いますか。成田直行便は、東京への島民の足になるとと思いますか。

- ・ 佐渡から成田空港へ直行便が就航した場合、約 70 分程度と聞いていますが、佐渡から東京駅までの短縮される時間は、島内の出発地や出発時刻により異なるため、一概に何分とお答えすることは難しいです。
- ・ 交通の移動検索サイトを利用した場合、目的地、出発時刻を入力して最短経路が表示されるように、利用条件によって移動手段を選択することになると思います。
- ・ 日本海側特有の気象条件等も考慮すると、首都圏への交通手段が増えることは、島民や来島者の利便性に寄与するものと考えています。

⑤ トキエアが佐渡ー首都圏便で導入を予定していたストール機が開発中止になった今、現行の機体では乗客定数を大幅に減らさないと就航できないと思いますが、それでは採算が取れず、県と市の赤字補填ありきの運航になるのではないのでしょうか。

- ・ 現状、長谷川社長含めトキエアから佐渡航空路線の具体的な就航計画について報告はありませんが、運行ダイヤや、乗客定員数などの運航体制や需要予測などの詳細が示された段階で、離島航空路の維持確保という観点から、支援について新潟県と協議することになると考えています。